

算数・数学

● 改訂のポイント

- ・ 小学で領域の再編
- ・ 統計分野の内容の充実

→統計的な内容を充実させるとともに、数や式、図、表、グラフなどの数学的な表現を用いて、道筋を立てて考え表現したりすることを重視。

● 領域の新旧比較

小学

領域	現行版	改訂版
A	数と計算	数と計算
B	量と測定	図形
C	図形	測定(小1~3)
		変化と関係(小4~6)
D	数量関係	データの活用

中学

領域	現行版	改訂版
A	数と式	数と式
B	図形	図形
C	関数	関数
D	資料の活用	データの活用

※測定…単位

変化と関係…関数、割合

→世界的に見て、「データの分析力」が弱いことから強化。

● 学習内容の移行

算数

○…移行される内容 ◎…新規に追加される内容

■…移行措置で扱われる内容

[2年]

◎計算結果の見積もり

◎簡単な分数 $1/3$

[3年]

- メートル法の単位の仕組み(k(キロ), m(ミリ)など接頭語について) ←小学6年から
- ◎計算結果の見積もり
- ◎数の表し方における1000倍
- ◎最小目盛り2, 5, 20, 50等の棒グラフ, 複数の棒グラフを組み合わせたグラフ

[4年]

- メートル法の単位の仕組み(長さや面積の単位の関係について) ←小学6年から
- ◎小数倍
- ◎簡単な割合
- ◎複数系列のグラフや組み合わせたグラフ

[5年]

- メートル法の単位の仕組み(長さや体積の単位の関係について) ←小学6年から
- ◎速さ ←小学6年から
- ※「単位量あたり」とつなげて学習します。
- ◎整数, 小数の記数法における1000倍の大きさ
- ◎複数の帯グラフの比較
- ◎統計的な問題解決の方法
- 素数 →中学1年へ
- 分数×整数, 分数÷整数 →小学6年へ

例えば、「速さ」
2019年は現行版指導要領なので、「速さ」は小6で扱うが、来年2020年度は改訂版指導要領になり、小5で扱うことになる。
→ 現小5は新小6になったら「速さ」を学習しないことになってしまう。
→ 移行措置により小5で扱う。
※基本的に、移行した学年で対応

[6年]

- 分数×整数, 分数÷整数 ←小学5年から
- ※「×整数」「×分数」「÷整数」「÷分数」と分かれていたが、一緒に学習します。
- 速さ →小学5年へ
- 平均値, 中央値, 最頻値, 階級 ←中学1年から
- ◎統計的な問題解決の方法
- メートル法の単位の仕組み →小学3年, 小学4年, 小学5年へ

数学

○…移行される内容 ◎…新規に追加される内容

■ ■ …2019年度移行措置で扱われる内容

■ ■ …2020年度移行措置で扱われる内容

[1年]

○用語「素数」 ←小学5年から

○素因数分解 ←中学3年から

※最大公約数や最小公倍数など、「整数の積」を使った内容。

○用語「累積度数」 ←高校数Iから

○多数の観察や多数回の試行によって得られる確率 ←中学2年から

○用語「平均値、中央値、最頻値、階級」 →小学6年へ

○誤差や近似値、 $a \times 10^n$ の形の表現 →中学3年へ

[2年]

◎用語「反例」

○四分位範囲や箱ひげ図 ←高校数Iから

○多数の観察や多数回の試行によって得られる確率 →中学1年へ

[3年]

○誤差や近似値、 $a \times 10^n$ の形の表現 ←中学1年から

○自然数を素因数に分解すること →中学1年へ